

「タラの物語 世界をかえた魚」

マーク・カーランスキー 文 遠藤 育枝 訳

S・D・シンドラー 絵 B L 出版



魚が世界の歴史をかえた...あなたは信じられますか？

アメリカやヨーロッパの歴史に大きな影響を与えたタラ。その生態から、調理法までをくわしく紹介！

「土のコレクション」

栗田 宏一 著

フレーベル館

ピンク、オレンジ、黄色、青、紫、緑、いろいろな色をしていても、どれもふつうの土ばかり。自然や気候、地形などで土の色やできかたに特徴があることを、知っていますか。土で紙をそめたり、絵の具をつくりしてみませんか。



「スズメの大研究 人間にいちばん近い鳥のひみつ」

国松 俊英 文 関口 シュン 絵

PHP 研究所



いつも人間の近くにいるスズメ。けれど、何を食べてどこに巣を作り、どんな生活をしているのか、ほんとうの姿は意外と知られていません。みんなの知らないスズメの生態から人間とのかかわりまでを広くさぐった一冊。この本でスズメが大好きになります。

「てつびん物語」

- 阪神・淡路大震災 ある被災者の記録 - 」

奥野 安彦 写真 土方 正志 文

偕成社

震災から 12 日目、小料理屋 [てつびん] のおばちゃんに出会った。「生きとっただけでめっけもんや。くよくよしたってはじまらん。こうなったら、死ぬまでりっぱにいきたるわ。」[てつびん] のおばちゃんの震災との闘いの記録。



「秘密の道をぬけて」 ロニー・ショッター 作

千葉 茂樹 訳

中村 悦子 画

あすなる書房



夜の闇からあらわれた黒人の一家。偶然目をさましたアマンガは、おとなたちの〈秘密〉を知ってしまう。いったいその秘密とは...？

いまから百五十年前ほどまえのアメリカの物語。

「ガンブ 魔法の島への扉」

エヴァ・イボットソン 作 三辺 律子 訳

堀内 亜紀 装画 偕成社



九年に一度、九日間だけ開くガンブの扉をぬけ、ロンドンの街にやってきた四人の救出者たち。年老いた魔法使い、ひとつ目の巨人、植物をつかさどる妖精に、小さなハグの女の子。彼らの使命は赤んぼうのときにつれさられた《島》の王子をさがすことだった。

「ランプの精 [ジン] イクナートンの冒険」

P . B .カー 作 小林 浩子 訳

あつみ よしひろ イラストレーション

集英社



ジョンとフィリッパはニューヨークに住む 12 歳の双子の兄妹。ふたりが、親知らずをぬいた日から異変が続発。夢に現れたロンドンの叔父さんによると、異変はふたりのせいで、じつは、ふたりは火からできたジン(妖霊)の血をひいているという。

「つくも神」

伊藤 遊 作

岡本 順 画

ポプラ社

マンションの放火騒ぎの翌日ほのかはエレベーターの中に、こわい顔をした奇妙な置物があるのを見つけた。それ以来、ほのかと兄の雄一のまわりで不思議な事件が続く。ほのかは、なぜか隣の家のおばあさんと土蔵にひかれてゆくが…。長い時を経て魂を宿した道具たち、〈つくも神〉の物語。



「星と月のコレクション」

林 完次 著
フレーベル館



日が暮れたら、そっと夜空を見てごらん。星や月が見えるね。三日月だったり、満月だったり。今夜はどんな星や月がみえるかな？

星の名前や季節の星。月のふしぎや、月の地図ものっている、美しい写真の本です。

「うらからいらしゃい - 七つの怪談 - 」

斉藤 洋 作 奥江 幸子 絵 偕成社

小学生のぼくに【怪談クラブ】から、おさそいの手紙がきた。【怪談クラブ】は、お兄ちゃんの通っている大学のサークルで、先生と5人の学生がこわい話をするところです。行ってみると、先生や学生がこわい話をはじめました。

7つのちょっとこわい話がいっぱい不思議な物語です。



「パーラ 上・沈黙の町
下・古城の秘密」



ラルフ・イーザウ 作
酒寄 進一 訳
佐竹 美保 絵
あすなる書房

語り部ガスパーレを
おそった奇妙な
＜ことばの病＞
詩人の町シレンチア
は、じわじわと病にむ
しばまれていく。
ガスパーレを助ける
ため、謎に立ち向かう
パーラを待ち受けてい
たものは…。

「ホリス・ウッズの絵」
パトリシア・ライリー・ギフ 作
もりうち すみこ 訳
桂川 潤 装画

ホリス・ウッズとは。
ひとりの赤ん坊が
捨てられた場所。
その赤ん坊の名前。
芸術家で
今は十一歳の少女。

さ・え・ら書房

